

12月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/12/17 (月)	東京は日経平均が200円を越える下げを記録したこともあり、円買い優勢。ドル/円は112円台へ。欧米は米経済指標を受けて一喜一憂。米経常収支や対米証券投資は良好ながら住宅指数は逆に悪化。	・10月の景気先行指数18.2% ・第3四半期の米経常収支 1785億ドル、10月対米証券投資978億ドル、12月のNY連銀製造業景気指数10.3、同NAHB指数19	・前FRB議長「米経済はスタグフレーションの初期症状が見られる」 ・イラン政府高官「ウラン濃縮活動は停止しない」 ・米財務長官「住宅問題の解決は時間が掛かる」	113.33 113.49 112.83 112.94	163.40 163.55 162.35 162.63	寄付 安値 高値 終値
07/12/18 (火)	東京は外貨建て投信に絡んだ円売りなどもあり、円売り優勢。一方、RBA議事録受け豪ドル堅調裡。欧米はECBの資金供給を好感したユーロ買い目立つ。一方、米住宅指標は悪くドルは買いにくい雰囲気。	・欧州委員会四半期報告「ユーロ圏のリスクは高水準の原油価格やユーロ高」 ・11月の米住宅着工件数118.7万戸、同建設許可115.2万戸 ・ムディーズがノーザンロックを格下げ	・RBA議事録「インフレ見通しを引き続き懸念」 ・ECBが過去最大級3486億ユーロのユーロ資金供給 ・FRB議長「FRBは住宅ローンに関する新たな規制を提案」	112.86 113.54 112.86 113.38	162.65 163.63 162.56 163.43	寄付 安値 高値 終値
07/12/19 (水)	東京はレンジ内で採み合い、ドル/円は30P弱のレンジで小動き。新規材料も乏しく動きにくい。欧米はFRBの資金供給を好感し米株が強含みに推移したこともありドル底堅い。BOE議事録も別途材料。	・12月の独IFO景気指数103.00 ・12月のBOE議事録「9対0で利下げを決定」 ・米為替報告書「為替報告書に該当する貿易相手国はない」	・ECB総裁「ファンダメンタルズが健全であることが確認された」 ・米財務長官「人民元の上昇は十分に速やかでない」	113.34 113.50 112.74 113.42	163.40 163.47 162.31 163.14	寄付 安値 高値 終値
07/12/20 (木)	東京は予想外ともいえる日銀の全会一致の金利据え置きを受けて一時円売りへ。ただ勢い続かず。欧米は前日の英利下げ観測を受けて債券が買えない。一方ドルは米経済指標の悪化からドル買いにくい。	・11月の貿易黒字7974億円 ・日銀が全会一致で金利据え置きへ ・第3四半期の米GDP確定値4.9%、同個人消費確定値2.8%、コアPCE価格指数2.0%、11月の米景気先行指数0.4%、12月のFF連銀指数5.7	・日銀総裁「先行きの金融政策のスタンス、まったく変わっていない」 ・中国人民銀行「預金金利と貸出金利を引き上げる」 ・ヘアスターズは四半期決算が会社設立以来初めての赤字へ	113.30 113.38 112.80 113.14	162.96 163.05 161.75 162.13	寄付 安値 高値 終値
07/12/21 (金)	東京は米サブプライム関連の懸念後退観測から円がしっかり。ただユーロはそれより強く、結果独歩高。欧米もユーロ堅調は変わらず。しかしドルが大きく切り返す展開で、対円では114円台も。	・WSJ紙「シンガポール政府系ファンドが米シリコンバレーに最大50億ドルの出資をする可能性」 ・11月の米個人所得0.4%、同個人消費1.1%、同PCE価格指数2.2%、12月のシカゴ大消費者信頼指数75.5	・米大手銀行「サブプライム対策基金の設立中止」 ・伊首相「ユーロの水準は非常に高い」	113.19 114.21 112.95 114.01	162.22 164.08 162.00 163.95	寄付 安値 高値 終値
07/12/24 (月)	クリスマスということでオープンしている市場は少なく、また東京も開店休業状態。欧米も依然小動き、シリコンバレーに関する報道を好感した動きも見られるが取引閑散で影響限定的。	・米シリコンバレーがシンガポール政府系ファンドなどが最大62億ドルの出資受け入れへ	・ECB総裁「英米の利下げに影響されることなくインフレ抑制に焦点置く」 ・ジョンソンIMF首席エコノミスト「ユーロ高が欧州のさらなる重しになっている」	114.11 114.49 114.00 114.30	164.07 164.91 163.97 164.53	寄付 安値 高値 終値
07/12/25 (火)	クリスマス当日で世界的に見てオープンしている市場は東京程度。取引手控えムード強い。欧米はロンドン、NYを始めとした休場でほとんど値動きなし。	・第4四半期大企業産業業況判断指数0.5 ・トルコの戦闘機がイラク領内に入りイラク人居住区域を爆撃		114.18 114.27 113.94 114.17	164.37 164.50 164.01 164.36	寄付 安値 高値 終値
07/12/26 (水)	東京は円買いでスタートするも、結局行って来い。年末・年始に向けた輸出企業の為替予約目立つ。欧米は米経済指標の悪化などドル売り要因目立つが米株が底堅く推移したこともありドル下がらず。	・日銀決定会合議事録要旨 ・トルコ軍がイラク北部・クルド労働者党拠点空爆 ・10月の米S&Pケース・シャレ主要20都市住宅価格指数 6.1%、12月リッチモンド連銀製造業指数 4	・亀崎日銀審議委員「タイムリーに金利を引き上げていかなければならない」	114.21 114.36 113.92 114.35	164.39 165.71 164.08 165.68	寄付 安値 高値 終値
07/12/27 (木)	東京は114円台で小動き。ただ外貨建て投信設定などの動きからドルは底堅い。欧米はブット元首相暗殺や弱い米経済指標を受けたドル売り優勢。113円台へとドル安進行。	・パキスタンのブット元首相暗殺される ・11月の米耐久財受注0.1%、12月の米消費者信頼感指数88.6	・福田首相「2008年はとくに経済で頑張る必要あり」 ・UAE中銀総裁「預金準備率引き上げの必要ない」 ・米大統領「テロとの戦いでパキスタン国民への支持を表明」	114.23 114.66 113.57 113.70	165.50 166.67 165.37 166.30	寄付 安値 高値 終値
07/12/28 (金)	東京は償還に絡む豪ドル/円の円買いをきっかけに円独歩高。株価の大幅安も円買いを後押し。欧米は地政学リスクの継続や米住宅指数の大幅な落ち込みを嫌気したドル売り進む。結果円が独歩高。	・11月消費者物価指数0.6%、同完全失業率3.8%、同鉱工業生産速報1.6% ・11月の米新築住宅販売64.7万件、12月のシカゴ購買部協会指数56.6	・渡辺金融相「テロ脱却宣言するには至っていない」 ・額賀財務相「G7を08年2月9日に日本で開催する」 ・パキスタン内務省報道官「元首相暗殺にアルカイダが関与している公算」	113.85 114.02 112.27 112.29	166.36 166.48 165.01 165.34	寄付 安値 高値 終値
07/12/31 (月)	東京休場に加え、アツアも休日に挟まれ市場参加者乏しい。そうしたなか一時円買い優勢に。欧米は利食いと相思円売りでスタートするも、地政学リスクの高まりもあり再びドル売り・円買い優勢に。	・11月の米中古住宅販売500万件	・英首相「08年は世界的な金融混乱を安定的に乗り切る方針だ」 ・人民銀総裁「人民元の為替制度の改善に取り組む」	112.30 112.30 111.30 111.67	165.47 165.51 162.47 163.00	寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL: <http://www.fx-newsletter.com/>